

白石区幼保小連携だより

令和4年 11月22日 No. 2
白石区幼保小連携推進協議会 代表者会

第2回白石区幼保小連携推進協議会が行われました

印刷・回覧して、園・学校
で共有をお願いします！

第2回のテーマ **学ぶ**

10月19日（水）に東川下小学校体育館において、幼・保・小109名の皆様にお集まりいただきました。第1回同様、たくさんの御参加をいただき、充実した学びの多い研修となりました。皆様の御協力に感謝申し上げます。

1 情報提供(今年度の幼保小連携の取組について)

コロナ禍において、感染症対策を講じながら今年度実施してきた各校の取組について、御発表いただきました

札幌市立東川下小学校 教務主任 香川寛樹 先生

- ①1年生担任の幼稚園での体験研修
- ②スタートカリキュラムの再構成
- ③授業研への他校種等への参加呼びかけ
- ④5年生と保育園児の交流（オンラインでの交流、保育園見学・交流、小学校での遊び交流等）

④5年生と保育園児の交流で大切にしたこと 5年生

子どもたちが「やらされる」のではなく、自然な意欲に基づき、自分自身から対象に働きかけて活動をつくることができるように。

年長児

小学校に行って小学生と関わることで安心感がもてるように。

札幌市立上白石小学校 教務主任 森剣治 先生

- ①学習参観への案内
- ②全力で取り組む会への案内
- ③鼓隊野外演奏会への案内
- ④幼稚園・保育園訪問（担任全員）
- ⑤校内研修会への案内
- ⑥保育園児が学校見学

連携全般で大切にしたこと

- ・地域に開かれた学校、校種間連携など、つながりを重視。
- ・交流を大切にし、学校づくりに生かす。
- ・近隣の園及び小中一貫パートナー校に呼びかけ、幅広い連携を目指した。

今後の取組へ続く…

両校からコロナ禍で何ができるかを探り「交流・連携」から「接続」へ、園での学びを小学校につなぐという意識をもった積極的な取組を伺うことができました。ぜひ参考にしたい実践を御紹介いただきました。

2 ブロック研修

【研修テーマ】 幼児の育ちつつある姿を見取ろう 【研修キーワード】 幼児教育の理解・幼小の育ちのつながり

遊びの中で子どもたちが感じていること、体験していることは何か？ 写真を見て考えよう！



今度こそ！
折らずに抜こう



やってみよう！

大根抜きの写真

長くて折れやすい最後の1本の
大根を何とか折らずに抜くため
に試行錯誤する
子どもたち

(前の経験から)
水を入れて柔らかく
しましょう！



あきらめたらそこで終わっちゃうよ。やればできる！

子どもの表情、体の動き、目線などから読み取ったことを交流し、遊びの中で育まれている力を10の姿と照らし合わせました(抜粋)

汚れることを気にせず夢中になる・やっと抜けたという達成感(健康な心と体)

皆が一つの目標に向かって協力している(協同性・言葉による伝え合い・道徳性・規範意識の芽生え)

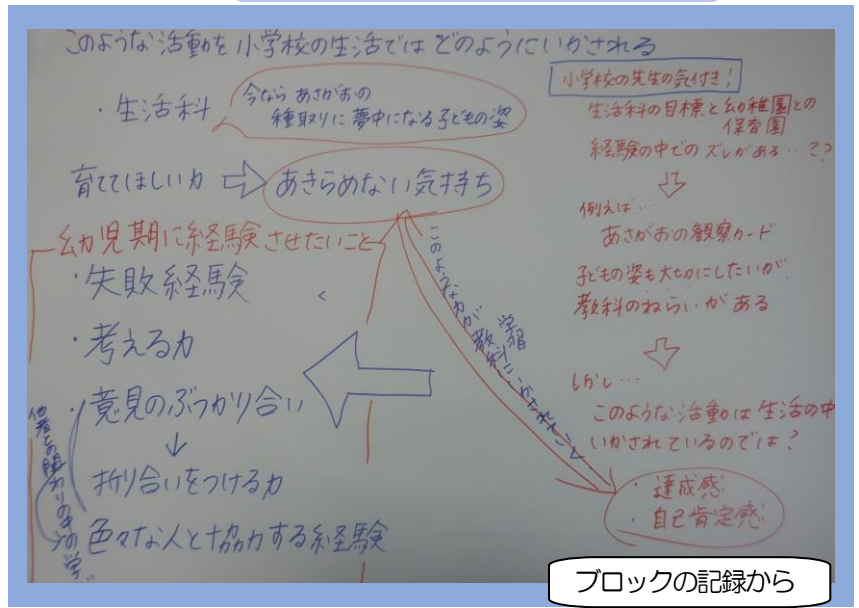
過去の経験を生かしどうやったら折らずに抜けるか考える(思考力の芽生え・社会生活との関わり)

土・泥の感触、匂いを実感する・大根の成長を実感する(自然との関わり・豊かな感性・数量や図形等)



・充実した遊びの子ども姿から「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」がすべてを読み取ることができた。
・参加者の見取りを分類すると「10の姿」すべてに関連する学びにつながっていた。

小学校の学習や生活の場面で考えると…



3 まとめ 東川下小松澤校長 (元幼稚園長の経験を踏まえて)

- ・幼児期はたくさん遊んで学ぶ。たっぷりと遊ばせてほしい。また「自分の気持ちを表現できるよう」に、そして「10の姿」を意識して育んで小学校へ送り出してほしい。
- ・1年生では、規律を大切にしつつも「主体性を生かす」ことが重要である。子どもの実態を捉え、やってみたくなる授業や学校生活の工夫をすることが大切である。
- ・幼保小どこにおいても子どもの「見取り」が大切である。子どもの的確な見取りが適切な指導や関わりにつながる。子どもの見取り方など、幼児教育施設と小学校が連携し、学びを深めていきたい。

❖参加者の声をアンケートより抜粋

五感を通して本物と触れ合うことで深い学びを生み出し、**小学校生活の下地になる大切な経験**であると感じた。(小)

「遊びの中の学び」が小学校につながっていることを実感した。**小学校では一部の教員が幼保の先生と交流を行っているが、様々な教員が参加できる体制があってもよいと感じた。**(小)

10の姿を難しく考えがちだったが、充実した遊びの中に含まれていることを学んだ。**失敗体験を大切にしながら成功体験を積み重ねることの大切さを話し合いで学ぶことができた。**(認)

話し合いで、事例の学びは小学校の中・高学年の学びにもつながるといことが話題となった。**低学年以外の先生と話す機会があると私たちの学びにつながると感じた。**(幼)

一つの遊びから、いろいろな子どもの育ちに繋がることを再確認した。子どもたちの興味・関心に合わせた保育を組み立て、自発性を大切にしていきたいと思った。(保)

今年度始めた連携、取り組もうとしている連携についてもたくさんの記述をいただきました。協議会をきっかけに連携が進むことを願っています！
また来年度、皆さんで交流し、学び合いましょう！